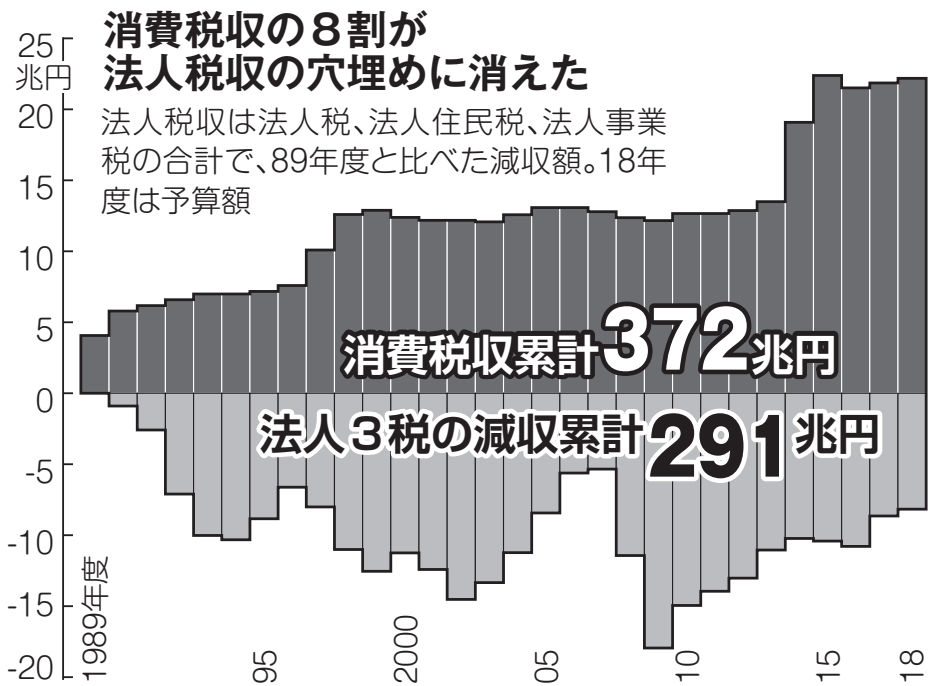


消費税
30年

社会保障のためでなかった



国民だましやめよ

消費税込収後、社会保障は悪くなるばかり。19年度は3870億円を削減しようとしてきた。

政府は消費税増税を「社会保障のため」といいます。しかし、消費税は低所得者ほど負担が重い「弱い者いじめ」の税金で、消費税を社会保障の財源にするのは本末転倒です。しかも、消費税導入から30年、国民から計372兆円集めた一方で法人税は計291兆円も減っており、ほとんどが大企業を中心とした法人税減税の穴埋めに回されています。

大企業減税の穴埋めに

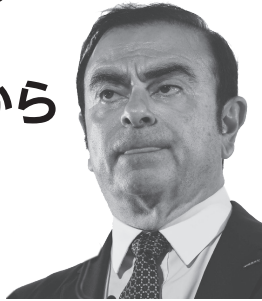
ちょっと待った!! 消費税10%

10月実施?!

安倍首相が表明した今年10月の消費税10%への増税。景気がさらに落ち込み、大混乱は必至です。10%中止へ力を合わせましょう。

消費税に頼らなくても
財源はある.....

「ゴーン前会長から税金取れ!」の声



大企業にせめて
中小企業並みの法人税率 **4兆円**
大株主優遇税制の是正 **1.2兆円**

今こそ声をあげよう

増税
「天下の愚策」

奇々怪々・混乱必至 軽減税率、ポイント還元

政府の景気悪化対策は複雑怪奇です。「軽減税率」で食品は8%に据え置き。これによりオロナミンCは清涼飲料水で食品=8%、リポビタミンDは医薬部外品で食品でない=10%。

さらに複雑にしているのが「ポイント還元」。消費税の実質負担率は①食品か食品でないか②カードで買うか現金か③大手のスーパーなどで買うか中小の商店か。これによって実質負担率は10%、8%、6%、5%、3%と5段階になってしまいます。

商品別・購入店別・決済手段別の消費税実質負担率

	オロナミンC (清涼飲料水)	リポビタミンD (医薬部外品)		
	現金	キャッシュレス	現金	キャッシュレス
大手デパート	8% 「軽減」税率	8% 「軽減」税率	10% -	10% -
大手コンビニ	8% 「軽減」税率	6% 「軽減」+2%還元	10% -	8% 2%還元
中小商店	8% 「軽減」税率	3% 「軽減」+5%還元	10% -	5% 5%還元

「しんぶん赤旗」18年12月22日付より

一番の景気対策は 増税しないことです

財源というなら、これまで優遇され、ばく大なもうけを上げている大企業やカルロス・ゴーン前日産自動車会長のような大金持ちに応分の負担を求めれば、10%増税分の4兆6,000億円はクリアできます。

